

# 平成26年度事業報告

自 平成26年4月 1日 至 平成27年3月31日

公益財団法人 内子町国際交流協会

## <基本方針>

平成25年4月1日、内子町国際交流協会は、公益財団法人として新たな一步を踏み出した。そして今年度は財団設立から20年の節目を迎えた。この間、当協会は内子町における国際理解・異文化交流の実施主体として着実に活動を積み重ねてきた。

町民一人一人が国際感覚を持ち、活力ある社会を形成すること、また将来を担う人材を育成し、一人でも多くの若者が国際的な視野と実践力を持つことを目指し、事業を行った。

## I 促進・交流事業

### 1 意識啓発・情報発信事業

#### (1) 機関紙「ゆうていあ」の発行

協会が実施する各種交流事業の内容や活動状況をPRし、国際交流・国際理解に対する認識を高めるための記事を内子町の広報紙「広報うちこ」へ掲載した。

発行時期：毎月1回（12回）

規 格：広報うちこ（A4版）

#### (2) ウェブサイト運営

インターネットにより、国際交流等に関する情報を収集するとともに、ホームページを通して当協会の活動を広く国内外に発信した。（<http://utia.jp>）

また、SNSサイト Facebook を活用し、イベント参加の呼びかけや活動報告を行った。

#### (3) 先進地視察研修

協会の持続的発展のため、先進的な活動事例を学ぶとともに、各種団体と交流を深めネットワークの形成を図る。今年度は実施なし。

### 2 各種講座運営事業

#### (1) 外国語活動、国際交流活動

町内小学校における外国語活動や国際交流活動、また幼稚園・保育園での国際理解教育において、外国語指導助手（ALT）・国際交流員（CIR）による活動を行った。小中学校とのコミュニケーションの促進やカリキュラムの提案など、より充実した活動が行えるよう、促進に努めた。

26年度は外国語指導助手2名、国際交流員1名により実施した。

幼稚園・保育園 49回、小学校外国語活動172コマ、国際理解教育72コマ

内子高校土曜授業 3回

#### (2) 国際理解講座（一般向け）

一般町民を対象に、海外についてわかりやすく紹介する講座を実施した。

講師：ドレーン・アルント、名本 裕子

- ・ 5月21日 大洲ユネスコ総会記念講演会「ドイツと日本の文化の違い ところ変われば品変わる」

講師：ドレーン・アルント

- ・ 8月28日 参川福祉館子ども会親子人権学習会「ドイツの食文化」
- ・ 11月18日 第6回内子福祉館まつり「ベルリンに住んでいる移住民」
- ・ 3月6日 内子町職員組合青年部学習会「ドイツの（食）文化、内子とローテンブルク市の関係について」

講師：スティーブン・バブカーク

- ・ 11月21日 スティーブン教えて！～アメリカの感謝祭～（参加者24名）

講師：久保 理恵子

- ・ 7月19日 愛媛日独協会総会講演「ローテンブルク市と内子町における交流の軌跡、内子町国際交流協会について」

### (3) 外国語講座

一般の町民を対象に、英語・ドイツ語を、レベル別に毎週開講した。

受講者数：各講座 5～14名

コース：ドイツ語1コース、英会話2コース（基礎・応用）

### (4) 英語絵本多読プロジェクト

英語絵本を町内中学校の図書室に設置し、生徒たちが気軽に親しめる環境を提供した。ALTにより読書指導を行い、多くの英語に触れられる機会をつくった。

## 3 交流イベント・体験事業

### (1) 国際交流ボランティア活動の推進事業

地域の国際交流の担い手・人材を養成し、活躍の場を広げるための事業を行った。主に以下のとおりの事業を行った。

#### ア ホストファミリー養成・登録

海外へ渡航するだけでなく、海外からの訪問者を受け入れることで異文化理解やホスピタリティーの精神を醸成する。

#### イ イベント等ボランティアの登録

町民のボランティアを登録・養成する中で、地域における国際交流に対する意識啓発を図るものである。①翻訳・通訳ボランティア②イベントボランティア③文化ボランティア

#### ウ 在住外国人支援のための「日本語広場（日本語講師養成）」

地域在住の外国人を支援すること、また外国人との交流を通じ、多様な価値観を地域づくりに活かす一翼を担うものである。

開催日時：毎週土曜日10時～12時

対象：日本語学習を希望する在住外国人（受講者数：5名）

#### エ 海外派遣事業OB会の運営事業（ビッグハンズ）

毎年実施されている青少年海外派遣事業のOB会への登録、情報交流を通じ、郷土に対する愛着心を醸成し、若き街づくりの担い手として、共に交流活動に参画することを期待している。

平成26年度はビッグハンズメンバーを中心に40名が笹踊りに参加した。

## (2) 「国際交流の集い」事業

大人から子どもまで楽しみながら異文化に触れる機会を提供する目的をもって、下記の行事を実施した。

### ア 内子町子どもフェスティバル出展

平成26年度はALTや県内在住外国人、ボランティアメンバー12名で子どもフェスティバルに出展し、フェイスペインティングを実施した。

### イ 国際交流イベント開催

国際交流員(CIR)・外国語指導助手(ALT)、ボランティアプランナーの企画において、交流イベントを開催した。

- ・7月12日(土)内子夏祭り出店「世界各国のビール販売」 9名参加

### ウ ALT交流会主催

普段教育現場を中心に活動しているALTと一般町民との交流の場を作る契機として、様々なイベントに参加し、交流を図った。またALTが内子町の文化に触れる場を提供した。

- ・5月5日(月) 凧合戦 五十崎豊秋河原河川敷 20名参加
- ・1月18日(日) 内子町駅伝競走大会 11名参加

## (3) ホームステイ受け入れ事業

姉妹都市であるドイツローテンブルク市からの訪問団をはじめ、ホームステイ受け入れ要請に対し、ホストファミリーの紹介や交流イベント企画といった事業を行う。

- ・4月12日～15日姉妹都市ローテンブルク市訪問団(8名)

## (4) 財団設立20周年記念事業

平成6年10月の設立以来、「まちづくりは人づくり」を理念に掲げ、青少年の国際理解教育や町民が国際感覚豊かな暮らしを営むための事業を実施してきた。今後はローテンブルク市とのより緊密な姉妹都市交流を基軸としながらも、様々な国や在住外国人との交流、東アジアなど近隣諸国との交流など、一層深く幅の広い国際交流を目指す必要がある。設立20周年を迎えるにあたり、活動の軌跡を総括すること、また町民に対し啓発を行いながら、新たな交流の方向性を模索することを目的に事業を実施した。

### ア 20周年記念シンポジウム・パネルディスカッション・交流会

記念行事では、長年協会に関わって頂いた方々の表彰式を行った。また、これまでの活動を総括し、今後の長期的な交流を展望するためパネルディスカッションを開催した。交流会では活発な意見交換が行われた。

記念式典・シンポジウム 11月29日(土) 内子座 200名参加

交流会 11月29日(土) 内子自治センター 100名参加

### イ 活動の記録・記念誌の編纂、パンフレットの刷新

過去20年間の協会の活動を総括的に記録し、未来へ引き継ぐことを目的とし、記念誌を作成する。また協会が行う活動をまとめ、内外にわかりやすく紹介するパンフレットを作成する。

記念式典・シンポジウム等の内容掲載のため、設立月である平成27年10月発行を目指して次年度への継続事業とする。

## ウ 20周年事業記念イベント

町民が楽しみながら国際交流に親しむことができる行事を実施する。

- ・記念講演

内子町の将来を担う若者たち、特に中学生へ国際感覚や実践力を身につけるきっかけとして記念講演を行う。学校との連携・スケジュール調整の結果次年度の開催とする。

- ・夏祭り出展

夏祭りに出店し、ALTと交流できる場を提供すると共に、設立20周年のPRを行った。

7月12日（土）内子夏祭り出展 9名参加

- ・青少年海外派遣団OB・OG交流会

交流はもちろん、ネットワーク再構築、協会への支援に繋がることを目的として、派遣生、団長・引率、添乗員の交流会を初めて開催した。

8月16日（土）内子町共生館ホール 70名参加

## 4 翻訳・通訳事業

行政の観光担当課における各国語パンフレット作成や行政の公用文書等の翻訳、姉妹都市交流行事等における通訳等の言語サポートを行った。

平成26年度は英語観光ガイドブック（「内子紀行」英語版）、上芳我邸概要翻訳、ローテンブルク市訪問団来庁時の通訳業務、多言語対応現状調査協力、ドイツフェスタでの通訳業務などを行った。

## 5 内子町中学校英語弁論大会実施事業

内子町教育委員会学校教育課と連携し、町内中学生を対象に英語弁論大会を開催し、弁論指導、審査等の協力等を行った。

9月25日（木）内子座 町内中学生約200名参加

## II 助成事業

### 1 青少年海外派遣事業

中学・高校生を対象に姉妹都市・ドイツローテンブルク市で研修を行うための費用を助成した。渡航費等費用の1/2以内（上限15万円）を助成した。ローテンブルク市の協力の下、現地では各家庭にホームステイし、ローテンブルク市の町並保存や環境保護、鋳造工房見学、プレツェル作りなどを体験した。第2訪問地であるフィンランド・ヘルシンキでは学校訪問や世界遺産スオメンリンナ要塞などを見学した。

- ・実施期間：10月27日（月）～11月5日（水） 10日間

- ・対象：町内の中学生13名

- ・派遣先：ドイツ・ローテンブルク市、フィンランド・ヘルシンキ

### 2 ローテンブルク市等との文化交流助成事業

ドイツローテンブルク市との姉妹都市盟約締結を機に新設され、工芸や伝統芸能など、内子町の文化の担い手がローテンブルク市等において交流するための費用を助成するものである。今年度は申請なし。

### 3 町民の海外研修助成事業

内子町民が海外で研修活動を行うための費用の一部を助成するもので、費用の半分を上限として助成を行う制度である。今年度は申請なし。

### 4 町民の国際交流に関する主体的な取り組みに対する助成事業

内子町内の国際理解や国際交流に関する主体的な取り組みに対し、その活動に要する費用の一部（上限5万円）を支援する制度である。今年度は実施なし。

## Ⅲ 法人管理

### 1. 平成26年度理事会・評議員会

月日	会議	主な議案	場所
6月10日	第1回理事会	事業報告・決算審議 特定資産の振替について	内子町役場本庁
6月26日	定時評議員会	事業報告・決算審議 評議員の選任	内子自治センター
9月24日	第2回理事会	規程の制定、委員の選任	内子町役場本庁
1月19日	第3回理事会	規則の制定・廃止	内子町役場本庁
3月25日	第4回理事会	特定資産運用方針・計画審議 事業計画・予算審議	内子町役場本庁

### 2. 特定資産運用管理委員会

月日	会議内容	出席者	場所
6月10日	運用状況報告	理事長、特定資産運用管理委員6名、事務局長他4名、野村證券担当者	内子町役場本庁
3月25日	運用状況報告 次年度運用収入見込み・運用方針案	理事長、特定資産運用管理委員5名、事務局長他3名、野村證券担当者	内子町役場本庁

### 3. 研修・会議等への出席

平成26年

5月14日 公益法人等の業務に関する説明会（事務局：久保）

6月11日 JETプログラム担当者セミナー（事務局：久保）

6月25日 平成26年度第1回外国人生活支援ネットワーク会議（事務局：名本）

9月12日 公益法人会計セミナー実務編（監事：山本、事務局：久保）

### 4. 職員の状況について

臨時職員1名雇用、3月末契約満了

## 5. 役員等の状況について

①役員（理事・監事） 定数：理事3名以上15名以内、監事2名以内（定款第20条）

H27,3,31 現在

役員	氏名	所属団体等
理事長	稲本 隆壽	内子町長
副理事長	藤渕 利通	元内子町教育委員長
副理事長	小野 尚久	(有)協栄調査測量設計事務所 代表取締役社長
専務理事	井上 淳一	内子町教育委員会自治・学習課長
理事	下野 安彦	内子町議会議長
理事	池田 洋助	青年海外協力隊 OB 内子町議会議員
理事	横田 光敏	内子町教育委員
理事	高本師津雄	NPO 法人 ODA の木協会理事長
理事	一柳 清志	内子町観光協会会長 一柳電気水道設備社長
理事	山村美佐子	国際交流協会プランナー
理事	濱田 和栄	内子町商工会女性部
監事	山本 修一	長浜町商工会経営指導員
監事	中村 俊昭	愛媛たいき農協内子支所長

②評議員 定数：3名以上25名以内（定款第9条）

H27,3,31 現在

氏名	主な職業
亀岡 忠重	内子町教育委員会教育長
山本 徹	内子町議会文教厚生委員長
小泉明子	内子町図書館長
永見雅之	参川郵便局長
今井 修	伊予銀行内子支店長
武智 操	愛媛銀行内子支店長
堀川映子	愛媛県立内子高等学校校長
篠崎美幸	愛媛県立小田高等学校校長
山岡 晋	内子町立天神小学校校長
谷口利光	内子町立小田中学校校長
寺岡千春	内子町PTA連合会副会長
才野 俊夫	内子ライオンズクラブ
城戸 博子	青少年海外派遣OB保護者
山本 勝美	内子手しごとの会会長
宮岡 淑子	内子婦人会
池田 幸江	内子町教育委員
大森 希世	内子町国際交流協会プランナー
山口 佳一	(株)内子フレッシュパークからり
大野 千景	内子町国際交流協会プランナー
泉口美知枝	青少年海外派遣事業派遣生OB

平成26年度附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので附属明細書を作成しない。